

学校事故を考える —その時、何が起こるのか—



いつもと同じように「行ってきます！」と元気に玄関を出て行ったのに…学校事故によって変わり果てた姿となった子どもを前に、保護者は深い悲しみの中で一つの強い思いを抱きます。

「学校でわが子に何が起きたのか？」

わが子に何が起こったのかを知りたい。そんな切実な思いが、実は学校や教育委員会によって踏みにじられる現状があります。

本公開授業では学校事故事件に関わってこられた宮脇勝哉先生をお招きし、学校事故をめぐる現状と課題について考えていきたいと思ひます。

子どもの安全が脅かされた時…

学校の対応とは？教育委員会の対応とは？

そして、一人の先生として、保護者として何ができるのか？

【第1部】 9:00～11:00

◆講演・質疑応答

【登壇者】

宮脇勝哉

(全国学校事故事件を語る会・代表世話人、元公立学校教員)

【第2部】 11:10～12:00

◆グループディスカッション

【コーディネーター】

國崎大恩

(神戸常盤大学教育学部・准教授)

開催日 : 2018年4月30日(月)

時間 : 9時00分～12時00分

場所 : 神戸常盤大学1号館 1301教室

お問い合わせ先 : 國崎 (t-kunisaki@kobe-tokiwa.ac.jp)